

第48回 北海道ソフトボール選手権大会（競技スポーツの部）結果

【競技スポーツ・男子の部】

期 日 平成24年8月25日(土)予備日26日

会 場 モエレ沼公園野球場

東区モエレ沼公園1-1

監督会議 天使大学中沼グラウンド 8:30～

開 会 式 天使大学中沼グラウンド

試合会場 モエレ沼公園野球場 25日(土)

1 北 海 道 大 学 (札幌)	6	優 勝
2 石 狩 S C 北 翔 (石狩)	11	
3 K I N Gソフトボールクラブ (石狩)	2	
4 ニ ュ ー バ フ ァ ロ ー (札幌)	20	
5回コールド		
		4 ニ ュ ー バ ッ フ ァ ロ ー
		11

【競技スポーツ・女子の部】

期 日 平成24年8月25日(土)

会 場 天使大学中沼グラウンド

監督会議 天使大学中沼グラウンド 8:30～

開 会 式 天使大学中沼グラウンド

25日(土)

1 石 狩 S C (石狩)	7	優 勝
2 佐 川 急 便 北 海 道 支 社 (札幌)	9	
3 K G - S H E ' S (札幌)	10	
4 北 翔 F G (石狩)	6	
		8 K G - S H E ' S
		15

問合せ先：札幌ソフトボール協会 木之内和子 090-5983-5816

第48回 北海道ソフトボール選手権大会（競技スポーツの部）

2012/8/25 モエレ沼公園野球場

【競技スポーツ・男子の部】

1 回戦 【試合開始】 10時05分 【試合終了】 11時55分 【中断時間】 【試合時間】 1時間50分 No1
審判員 球審 神戸芳明 一塁 斎藤利洋子 二塁 牧野弘志 三塁 梅内 仁
記録員 香川恭穂 放送 外山由香

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
北海道大学 (札幌)	0	2	0	0	3	1	0								6
石狩SC北翔 (石狩)	0	0	3	3	0	5	0								11

(バッテリー) 先攻 (投) ●木村 拓、斎藤勇士 後攻 (捕) 十良澤健二
[勝○、負●] 後攻 (投) ○内川貴志 後攻 (捕) 古谷太一
先攻 (本塁打) 金田祥宜 (三塁打) 山澤亮介
(長打) 後攻 (二塁打) 山本慎二 (三塁打) 渡辺正弘②、堀 誠
後攻 (本塁打)

試合速報：石狩SC北翔は、6回「渡辺」「堀」三塁打が勝利をもたらし、北海道大学を振り切る。
石狩SC北翔は、5回裏から登板した「斎藤」を6回裏四球2回・安打4本（内「堀」「渡辺」三塁打）で攻略し5点挙げ、終盤同点まで追い上げてきた北海道大学を振り切って初戦を突破した。これに対し北海道大学は、5回表3番「金田」ライト内野手3点ホームランで1点差まで詰め寄ったが、勝運に乗れなかった。

1 回戦 【試合開始】 12時19分 【試合終了】 13時55分 【中断時間】 【試合時間】 1時間36分 No2
審判員 球審 鈴木誠昭 一塁 河内充美 二塁 吉野友昭 三塁 石川和男
記録員 佐々木包久 放送 外山由香

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
KINGソフトボールクラブ (石狩)	1	0	1	0	0										2
ニューバファロー (札幌)	12	3	3	2	x										20

(バッテリー) 先攻 (投) ●浅野隆之、和田省三 後攻 (捕) 横山昭浩
[勝○、負●] 後攻 (投) ○佐藤利広 後攻 (捕) 山田 聡
先攻 (本塁打) 加藤純輝、按田 誠 (三塁打) ー
(長打) 後攻 (本塁打) 流田安紀、熊谷秀之 (三塁打) 鳥谷部真
後攻 (二塁打) 佐藤信幸、松坂隆徳、千葉俊則、山田 聡、佐藤利広、水野大輔

試合速報：ニューバファローは、19安打の猛打で毎回得点を挙げる。
ニューバファローは、1回裏二死後12連続打者をもって12点を挙げる。試合は一方的にニューバファローの攻撃に終始し毎回得点を挙げ、「佐藤」投手が被安打3本と好投し決勝に進んだ。KINGソフトボールクラブの得点は、いずれも「加藤」「按田」の二塁打によるものだけだった。

決 勝 【試合開始】 14時20分 【試合終了】 15時50分 【中断時間】 【試合時間】 1時間30分 No3
審判員 球審 佐藤和哉 一塁 神戸芳明 二塁 梅内 仁 三塁 吉野友昭
記録員 外山由香 放送 香川恭穂

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
石狩SC北翔 (石狩)	0	0	2	0	0	2	0								4
ニューバファロー (札幌)	2	3	4	0	0	2	x								11

(バッテリー) 先攻 (投) ●内川貴志 後攻 (捕) 古谷太一
[勝○、負●] 後攻 (投) ○佐藤利広 後攻 (捕) 阿部正彦
先攻 (本塁打) ー (三塁打) ー
(長打) 後攻 (本塁打) 流田安紀 (三塁打) 松坂隆徳、水野大輔
後攻 (二塁打) 流田安紀

試合速報：ニューバファローが優勝、全道の頂点に立つ。
ニューバファローと石狩SC北翔の決勝戦は、得点差がついて決着がついたが、走者が出るたび緊張感をもってゲームを観る事が出来た。3回裏ニューバファローの攻撃は先頭打者から4連打し併殺を喫した二死後「水野」左越え2点三塁打があり4点が加わり勝利を呼び、モエレ沼公園の山の頂点に立った如く、全道の頂点に再び咲いた。

第48回 北海道ソフトボール選手権大会（競技スポーツの部）

2012/8/25 天使大学中沼球場

【競技スポーツ・女子の部】

1 回戦 【試合開始】 9時58分 【試合終了】 11時56分 【中断時間】 【試合時間】 1時間58分 No21
審判員 球審 寺村健人 一塁 大井 裕 二塁 岩佐タカ 三塁 長 健治
記録員 北 信昭 放送 上島仁美

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
佐川急便北海道支社 (札幌)	2	0	0	1	0	5	1								9
石狩SC (石狩)	0	2	4	1	0	0	0								7

(バッテリー) 先攻 (投) 片寄かおり○新居加那 (捕) 中村くるみ
[勝○、負●] 後攻 (投) ●可香亜友美 (捕) 鈴木美貴
先攻 (本塁打) ー (三塁打) 松浦聖良
(長打) (二塁打) 久保筑子
後攻 (本塁打) ー (三塁打) 丹野あずさ
(二塁打) 丹野あずさ、澤岡 悠

試合速報：佐川急便北海道支社は、劣勢を繰越の「新居」1失点に抑え初戦突破に貢献！。
佐川急便北海道支社は、5回終って重い4点を背負った6回表6番「松井」から3連打し1番に傳り「久保」の打点3の三塁打が出て同点とし、二死後4番「中村」勝越しタイムリーを放った。この打線の援護をもらい「新居」が最少失点に抑えて、勝利投手となり辛勝を収めた。石狩SCは、1番「丹野」4安打4打点と先頭打者の任務を果たした。

1 回戦 【試合開始】 12時19分 【試合終了】 14時25分 【中断時間】 【試合時間】 2時間06分 No2
審判員 球審 丹下夏彦 一塁 広瀬政則 二塁 縄井幸子 三塁 佐藤敏孝
記録員 上島仁美 放送 正部家清子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
北翔SC (石狩)	0	0	0	3	3	0	0								6
KG-SHE'S (札幌)	0	1	3	0	2	4	x								10

(バッテリー) 先攻 (投) ●横山 藍、横田 遙 (捕) 古瀬里紗子
[勝○、負●] 後攻 (投) ○佐々木優、佐々木愛、佐々木優 (捕) 高橋絵美
先攻 (本塁打) 河見明日香 (三塁打) ー
(長打) (二塁打) 古瀬里紗子②、菊池絵梨、横田 遙、河見明日香、高橋梨花
後攻 (本塁打) ー (三塁打) ー
(二塁打) 佐藤香奈②、佐々木優、

試合速報：KG-SHE'Sは、善戦に得点を重ね、投手リレーで勝利し決勝に備える。
KG-SHE'Sは、打線を信じた攻撃的な攻めの試合を行って得点を重ね、大量10点を挙げ勝利を収めた。先発「佐々木優」を5回二死走者二塁から「佐々木愛」に繋ぎ、6回表から「佐々木優」に戻して7回を終え決勝へ駒を進めた。北翔SCは、4・5回表で、「河見」本塁打含む長打5本が集中し、6点を挙げた。

決 勝 【試合開始】 15時00分 【試合終了】 17時21分 【中断時間】 【試合時間】 2時間21分 No3
審判員 球審 只野慶勝 一塁 寺村健人 二塁 岩佐タカ 三塁 大井 裕
記録員 正部家清子 放送 上島仁美

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
KG-SHE'S (札幌)	3	0	0	0	6	6	0								15
佐川急便北海道支社 (札幌)	3	0	0	1	1	3	0								8

(バッテリー) 先攻 (投) 梅内知奈、佐々木優、○佐々木愛 (捕) 梅内歩里
[勝○、負●] 後攻 (投) ●新居加那、片寄かおり、新居加那 (捕) 中村くるみ
先攻 (本塁打) 高橋絵美 (三塁打) ー
(長打) (二塁打) 高橋絵美
後攻 (本塁打) ー (三塁打) ー
(二塁打) 尾崎友香、松浦聖良、齋藤智咲

試合速報：KG-SHE'Sは、5回「高橋」先頭打者同点本塁打が勝利を呼び、優勝を飾る。
KG-SHE'Sと佐川急便北海道支社の対決は、初回お互い1番が四球出塁し、それぞれ暴投・拙守が得点にからみ3点を取り合った。5回表KG-SHE'Sは1点を追い、先頭打者の3番「高橋」2球目を中越え本塁打し同点とし、直後から打線が繋がり6安打し5点差とした。4回裏二死から「佐々木愛」が登板、4点を失うも大量点の援護で優勝を手にした。これに対し、佐川急便北海道支社は、若いチームだけにこれからの成長が大いに期待される。